

第 87 回 教育研究評議会議事要旨

日 時 令和 7 年 11 月 28 日（金）10：00～12：00

場 所 高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 + ウェブ（Zoom）併用

出 席 者

【構成員】 浅井議長、荻尾、上垣外、栗栖、菅原、田島、中野、早川、廣井、福村、門馬、足立、長野、花垣、道園、齊藤、船守、小関、波戸、小林、後田、雨宮、帯名、中村の各評議員
(欠席：元村評議員)

【オブザーバー】 三明監事、白木澤監事、柴原総務部長、森安財務部長、原研究協力部長、永野施設部長、櫻井参事役、島根監査室長、岩見人事担当課長、飯塚財務企画課長、山口研究協力課長、枝川連携推進課長、三國 QUP 業務推進室長、河西国際企画課長

配付資料

1. 第 85 回・第 86 回議事要録について
2. 所長等選考プロセスの見直しについて
3. 教員採用時における懲戒処分歴の確認に係る申合せについて
4. 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構共同研究講座規則の制定等について
5. QUP の状況報告について
6. KEK における大型研究計画の進め方について
7. DE&I 推進のための体制整備について
8. 人事異動
9. 若手研究者の育成について
10. 高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について
11. J-PARC センターの運営体制について

別途配信資料

1. LiteBIRD 計画への KEK 参画・推進経緯等に関する検証結果について

【1】第 85 回・第 86 回議事要録について

浅井議長から、資料 1 の議事要録は事前に確認を終了しており、確定版を配付している旨の説明があった。

【2】審議

（1）所長等選考プロセスの見直しについて

浅井議長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・候補者選出が1名であっても、規程上は差し支えないか。

→複数名の選出が望ましいが、選考した結果、1名となったとしても容認する。

- ・懸念点は、最終的な判断が機構長個人に委ねられ、個人が責任を持つ点であり、組織的なガバナンスとして、将来的に機能するかが疑問である。教育研究評議会における議長の裁量を拡大した上で、責任の所在は教育研究評議会としてはいかがか。

→今回のプロセスの見直しは、責任の所在が機構長にあることを明らかにするために行った。また、同評議会では、所長等の選考以外の審議も行われるため、議長の裁量を拡大することは望ましくないを考える。あくまで、一評議員としての立場を尊重したい。

- ・組織の長が役職者等の選考に関して責任を持つことは、マネジメントの基本だと考えている。今回の変更は、組織のガバナンスを機能させるために必須であり、方針に賛同する。

（2）教員採用時における懲戒処分歴の確認に係る申合せについて

道園評議員から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・懲戒処分歴の確認を各運営会議に一任するのではなく、経歴等の確認書類のフォーマットを作成し、応募者に提供するのが良いのではないか。

→フォーマットは既に用意しているが、当該フォーマット以外の書類を提出する応募者もいる。そのため、各運営会議において、採用前に懲戒処分歴を適切に確認するよう依頼したい。

（3）大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構共同研究講座規則の制定等について

花垣評議員から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・研究費の下限額は定めているか。また、間接経費は、直接経費の何%に設定する予定か。

→現時点では研究費の下限額を定めていないが、今後検討していきたい。また、間接経費は、直接経費の30%と設定する。

【3】報告

（1）QUPの状況報告について

花垣評議員から、資料5に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・プログラム委員会及び拠点作業部会から受けた指摘の具体的な内容はどのようなものか。また、今回の変更はその指摘に応えたものになっているか。

→指摘事項の1点目は、従来のビジョンの中心としていた LiteBIRD に搭載する超伝導転
移端センサー（TES）の研究開発で、実現が難しい実機製作にまで踏み込んだ点である。

2点目は、同じくビジョンとしていたシステモロジーの設置に関して、専門性を有して
いないと評価された点である。これらの指摘を踏まえ、今後は KEK が有する基盤技術に
立脚し、実効的に推進することが可能な計画内容にすることを検討した。

- (2) LiteBIRD 計画への KEK 参画・推進経緯等に関する検証結果について
長野評議員から、別途配信資料に基づき報告があった。

- (3) KEK における大型研究計画の進め方について
花垣評議員から、資料6に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・ロードマップに記載される前に機構内で内容を精査することは重要であり、方針に賛同
する。一方で、他機関が関与する複数の財源で実施するプロジェクトの場合、KEK 単独
での議論は難しいと考えられる。そういったプロジェクトに対しては、どのように対応
するつもりか。

→今回の見直しは、プロジェクトの実現可能性も含めて精査するため、意思決定プロセス
を確立すべく行った。他機関とのプロジェクトの場合にも、まずは機構内で精査し、そ
の上で、関係各所と議論する必要があると考える。

- ・なぜ基本方針の中に、わざわざ ad-hoc なレビュー委員会を設置すると記載したか。

→予算申請候補ごとに委員を選定し、レビュー委員会を設置することを強調するためであ
る。

- (4) DE&I 推進のための体制整備について
道園評議員から、資料7に基づき報告があった。

- (5) 人事異動
浅井評議員から、資料8に基づき報告があった。

- (6) 若手研究者の育成について
花垣評議員から、資料9に基づき報告があった。

- (7) 高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について
花垣評議員から、資料10に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

- ・総合研究大学院大学の卒業生の進路は、統計を取っているか。

→統計を取っている。

- (8) J-PARC センターの運営体制について
小林評議員から、資料11に基づき報告があった。

【４】研究活動報告

- (１) 波戸評議員（共通基盤研究施設長）から、共通基盤研究施設の研究活動状況について報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・機械工学センターの職員は何名か。人材の確保が課題となる中で、今後の人材機能の維持及び発展のために、どのような検討を行っているか。

→教員が４名、技術職員が約１０名である。また、人材確保のために、他の研究所・施設から定年退職後の再雇用者を継続的に採用している。

【５】自由討論

・つくばエクスプレス線つくば駅構内の特別展示に、KEK の「超伝導加速空洞」が展示されているのは非常に良い取り組みである。

→今後も様々な広報活動に取り組んでいきたい。

【６】その他

浅井議長から、閉会の挨拶があった。また、次回の評議会は令和８年３月１０日（火）に開催するとの案内があり、閉会した。

以 上